

特定非営利活動法人ごたごた荘 設立趣旨書

近年、従来の地域、職場のコミュニティーが崩壊し、長期の不況が続く中、子育て環境、労働環境は著しく悪化し、今や子育ては個人にとっても社会にとっても困難な課題となっています。行き詰った親子の不幸な事件も後を絶ちません。

それに対応し、子育て支援の充実が求められ、保育所や行政のメニューも様々なニーズに応えるべく多様化しつつあります。

しかし子育てが“孤育て”と言われるような状況の中、何よりも必要なのは単に保育メニューを増やすことではなく、子どもたちが伸び伸びと育つことができ、保護者が安心して子どもを通わせられる場の存在と、子育て期の不安や悩みを互いに支え合うことのできる人と人とのつながりです。

私たち共同保育所ごたごた荘は、小規模・異年齢保育、保護者も運営に参加する共同保育という特色ある保育所として、28年間にわたり、“預ける・預かる”の関係をこえ、大人も子どもも共に育ち合う場を維持して参りました。人間関係の希薄化が言われる中、子どもたちは異年齢の暮らしの中で人間関係を築く力を育みながら成長し、大人たちは互いに支え合えるつながりを、世代を超えて幾重にも広げてきました。

この間、1982年からは練馬区の保育室として、2010年3月からは東京都の認証保育所として、行政からの信用と信頼を積み重ねるとともに、地域の方々との交流や学びの機会を重ね、子育て世代の個人や保育関係者、子育て支援の様々な民間組織などと結びあい、地域の中に豊かなネットワークを育んできました。

私たちは、今後も、今まで培ってきた経験と実績を活かし、子育てが難しいと言われる状況を少しでも改善し、安心して子育てできる環境づくりに貢献していきたいと考えます。そのため、今後は、運営に安定性を欠き、長期的な展望を持ちにくい任意団体の形態ではなく、社会的立場を明確にし、責任を持って事業を推進し、より広い市民の参加を得て、活動を発展させていけるよう、「特定非営利活動法人ごたごた荘」の設立を期すことにいたしました。

「特定非営利活動法人 ごたごた荘」は、児童福祉の理念に基づき、広く一般市民を対象に、共同保育所ごたごた荘の育ち合いの場を維持・発展させるとともに、子育て及び子育て支援のための情報収集・提供、相談、学習会や講演会、ひろば活動、地域交流事業、遊び場や環境問題を含む普及啓発活動、子ども・子育てに関する他団体、専門機関等とのネットワークづくりなどを行い、子どもが伸び伸びと育ち、親が安心して子育てできる社会の実現に貢献します。

2010年10月29日

設立代表者 東京都練馬区東大泉7丁目50番40-2
-204号
遠藤 美保子 印